

スポーツ公園継続の要望書（要約）

1. 整備構想に関する意見と要望

大阪府開発計画の「一部変更はあるものの」・・・ではない。大きな計画変更だ!

1. 地元住民はスポーツ公園住宅開発の新聞報道が先行し、住民への情報が遅れていることが不満です。大阪府の「計画段階から住民の参加を求め、使い手の視点に立ったまちづくりをすすめる」に反します。
2. スポーツ公園開発計画に「緑豊かな環境のもとで誰もがふれあい、自然と親しみながら」が全く見えません。さらに「整備内容に一部変更はあるものの」とありますが、今回の開発計画は大きな大きな計画変更です。
3. 住民説明会で府公社と羽曳野市から「住宅販売が使命の公社の立場をご理解下さい」という再三の発言は、住宅開発が前提の説明だ。今回の計画変更について、大阪府からの説明がない段階で、府公社の立場のみの説明は早計だ。
4. ふれあいの郷の整備計画を変更した大阪府が大阪府住宅供給公社の負債を負担すべきだ。
5. スポーツ施設を導入するに当たり、民間業者の意向でスポーツ公園の5年間暫定利用が短縮されるとの説明があった。暫定期間が短縮されて住民との話し合いと結論が急がれている。・・・**本年3月決定（予定）が納得できない。**

2. スポーツ公園とビオトープの継続

ビオトープを壊して子どもたちの夢をつぶす!・・・胸が痛まないか?

1. 僅かな自然の森をシンボルにしたビオトープが運営されており、地元の幼稚園児や小学校の子どもたちが自然観察に訪れ子どもたちの夢を育てている。この場所を住宅地造成のため、無残に壊してしまうことに胸が痛まないか。財政赤字は誰の責任なのか。住民税を払っている住民に、その付けを押し付ける計画には納得できません。
2. スポーツ公園は住宅と建物で埋まってしまう。スポーツ施設は有料施設で住民が自由に使える施設ではない。
3. ビオトープは現在の住宅地に隣接する住環境空間の安全安心の場所であり、世代間交流の拠点です。ビオトープ・森・広場・集会所とのつながりと空間が必要です。これらのつながりと環境空間の継続を要望します。
4. 羽曳が丘小学校児童の自然教室での感想文をご覧ください。児童たちの心は地球温暖化対策へと向かっています。自然環境資源を子ども達へ提供することで羽曳野市は大きく進展します。スポーツ公園の継続を切望します。
5. 道の駅・スポーツ公園・住宅地の相乗効果で「賑わいのある地域」は間違いです。住宅地の「賑わい」は広場などの地域コミュニティの拠点です。住宅地では道の駅との相乗効果で交通問題が発生しています。
6. E&L 会員対象のアンケート調査で多くの住民が純粋に自然環境を望んでいる事を理解下さい
7. 行政機関・市議会・府公社からのスポーツ公園・ビオトープの継続を推進する議事録と解説をまとめました。
 ①現在の場所で希望に近い面積で利用できるよう大阪府と交渉。②ビオトープを極力今のかたちで残すことを考慮
 ③ビオトープを残すにはどれだけのスペース・皆さんと相談して決めたい。④羽曳野市としても残したい。
 ⑤大阪府も残したい。⑥府公社も何とかしたい。・・・**この発言が空論にならないことを提言します。**

3. 要望書のまとめと今後の方針

大阪府・羽曳野市・府公社の回答書を公開し新たな提案をします。

1. 大阪府からスポーツ公園の1/2の住宅開発・グランドゴルフ場の移設・スポーツ施設の設置が発表されましたが、そこにはビオトープがありません。スポーツ公園とビオトープの継続を要望します。
2. 説明会・府公社・羽曳野市・市議会からの説明・回答などから、ビオトープを現在地に残す方向で検討するという意見がありました。ビオトープ・森・広場を現在地に残すことを重ねて要望します。
3. 私たち地域住民は大阪府・羽曳野市・府公社からの回答書を基に具体的な新たな提案をします。



開発計画は決定ではありません。住民の声を要望しましょう。

スポーツ公園開発計画の説明会で共通する住民の声は、ハコモノ施設にほとんどの住民が反対しています。先日の9-10丁目説明会で、ハコモノをやめて、太陽の光のある現在の広場を希望する発言が印象的でした。

行政は回答書においても開発ありきの説明で、具体的な住民の要望に対しては検討すると述べるに止どまり、先行き不安を感じました。説明会では住民が行政説明に対して、「不信」・「不安」・「大阪府の参加」を発言しましたが、行政は当初方針を軸にして説明を繰返しました。

さらに住民から「今後説明会など開発計画の日程を住民へ文書公開して推進すること」の要望があり、行政が承諾しました。この発言は貴重だったと思います。住民が反対する開発計画は納得できません。開発計画は決定ではなく住民の声を行政へ継続して提言することが重要です。

羽曳野市・地区計画変更は地元の皆様の協力なしでは進められない。

羽曳野市からの提言

羽曳野市から次の前進的提言がありました。地元住民の声が羽曳野市へ届いたと思います。私たちは今後も行政へ提案していきます。

市民活動の理念 個性豊かで活力ある地域社会を実現するには、地域で暮らし地域の实情を知る市民の参画なしにはありえない

- ①行政サイドとしては重くて重要で切実な課題。
- ②保育園・自然を残すこと・子どもの遊び場・生き生きと住んでいける街をこれからどうつくって行くのか。
- ③大阪府建設事業評価委員会では「住民の皆様の理解を得て進めよ」という条件もついております。
- ④事業計画の変更は地区計画の変更手続きが必要。地元の皆様のご協力なしでは進めることはできない